

敦賀港にてみなとふれあい教室を開催！

平成24年10月15日、敦賀港のフェリーターミナル及び親水護岸フェリオスにおいて、敦賀西小学校の5年生49名が、港の役割や「海・港」への親しみ・興味・関心を高めてもらうことを目的に「みなとふれあい教室」と題し、フェリー見学、講話及び稚魚放流を体験しました。

当日は、今年6月に就航したばかりのフェリー船内において、客室や普段は入れない操舵室等を見学し、その豪華さや大きさに感動した様子でした。

次にターミナル内にて、寺田敦賀支店長、濱上敦賀市漁業協同組合長、松本所長の講話が行われ、松本所長からは「港が生活にとって重要な役割を果たしていることやいつまでも綺麗な海を大切にしてほしい」との講話がありました。

その後、敦賀湾で育った鯛の稚魚500匹を小学生が網とバケツを使用し、元気が良くてなかなか捕らえられない稚魚に苦戦しながらも、楽しそうに稚魚の放流を行いました。



フェリー操舵室にて機器等の説明



ターミナル内にて松本所長の講話



鯛の稚魚を苦戦して捕まえている様子



鯛の稚魚を放流している様子